

女性のつながりサポート事業【豊橋市】

地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染症拡大による解雇・収入減といった困難が女性を直撃しており、不安を抱える女性を支援する取組が必要不可欠となっている。これまでも、女性の悩みごと、DV、ひとり親家庭、子ども若者、妊娠・出産・子育てなど様々な困難や不安を抱えている方を対象に生活のことや経済的なことなどに関する相談を実施してきているが、より寄り添った支援を行うには、NPO等の知見を活用したきめ細かい対応が必要である。

事業の特徴

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な不安や困難を抱える女性を支援することを目的として、一般社団法人東三河セーフティネット及びNPOまんまによる居場所の提供(生理用品の配布含む)、アウトリーチ型の相談(訪問支援)等を行うことで、社会との絆・つながりの回復を図る。

事業の効果

女性が抱える様々な不安や困難の解消につながることを期待される。本事業の取り組みを当事者に知ってもらうことが最重要であるため、「つながる文庫」を40,000世帯に配布し、また「まちかど保健室」の案内カードを小中学校の女子児童・生徒に配布したことにより、LINEによる相談が増加している等、効果が現れ始めているので、引き続き、周知することが重要である。

目的・目標

実情に応じた支援が可能なNPO等の創意工夫を活かし、孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することを目的とする。

目 標:相談事業110件、居場所の提供事業100件、
アウトリーチ型事業:30件
達成状況:相談事業34件、居場所の提供事業176件、
アウトリーチ型事業:21件

連携団体

「一般社団法人東三河セーフティネット」及び「NPOまんま」の2者

今後の課題

事業実施が令和4年1月であり、「つながる文庫」や「まちかど保健室」案内カードの製作・配布に日程を要したことから、本事業を当事者が知って多くの相談につながるのは今後である。令和4年度も引き続き本事業を実施することで、様々な不安や困難を抱える多くの女性を支援していきたい。

豊橋市女性のつながりサポート事業

いどげた相談所

電話、メール、SNS (LINE)による相談/Zoom、面接による相談

すももど保健室

女性が悩みや不安な思いを気軽に話すことができ、医師からの情報提供・アドバイスを受けることができる場所。生理用品の提供も行う。

おうものかたづけ

整理収納アドバイザーなどの有資格者が、孤立している女性の生活拠点である家庭へ訪問し、物の整理と合わせ心の整理を行う出張講座

つぎがる文庫

つながりサポートBookのポスティングによる配布 (約45,000部)
女性が自ら居場所を見つけ、1人で訪れることができる「場所」の情報を提供する。

ホームスタート

孤立しやすい産前産後、未就学児がいる家庭で訪問ボランティアが家事や育児を協働したり、不安・孤独感を傾聴する事業



公式ライン Link Lien (リンク リアン)

